

全国飼料増産シンポジウム開催要領

～自給飼料の生産拡大に向けて～

1 目的

農林水産省は、平成27年3月に策定された「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」に則し、飼料自給率の向上のため、全国の関係機関等と連携し、「飼料増産運動」を進めてきたところです。

「飼料増産運動」の開始から4年目となる平成30年度においては、最近取り組みがみられるようになった国産濃厚飼料及び着実な水田での飼料作の推進のための飼料イネ並びに繁殖基盤強化のための放牧の推進に焦点をあて、更なる自給飼料基盤拡大に向けた事例発表等を行うシンポジウムを開催します。

2 日時 平成31年2月27日(水) 13:30～17:20

3 場所 TKP神田ビジネスセンターANNEX ホール8I
(東京都千代田区神田美土代町1 住友商事美土代ビル 8F)
電話：03-3518-4671

4 主催 一般社団法人日本草地畜産種子協会

5 日程

(1) 開会 挨拶

【第1部】

(2) 基調講演(13:40～14:20)

「国産濃厚飼料(子実用トウモロコシ)生産拡大のための条件(仮題)」

講師：農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究拠点 飼料作物研究領域

栽培技術ユニット長 菅野 勉 氏

(3) 事例発表(14:20～15:20)

①子実用トウモロコシの生産部門における取組について(仮題)

有限会社盛川農場 代表 盛川 周祐 氏

②子実用トウモロコシの利用部門における取組について(仮題)

高源精麦株式会社 代表取締役社長 高橋 誠 氏

(休憩)

【第2部】

(4) 基調講演(15:30～16:20)

都府県での放牧による低コスト素牛生産について(仮題)

(一社)日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー 梨木 守 氏

【第3部】

(5) 基調講演(16:20～17:10)

「最近のイネWCS専用品種の特徴とその栽培・利用について(仮題)」

講師：農研機構農業情報研究センター農業AI研究推進室

松下 景 氏

(6) 一般社団法人日本草地畜産種子協会からのお知らせ

(7) 閉会 挨拶